

車用電波時計

オートライトモデル (ブルーバックライト)
常時点灯モデル (レッドバックライト)

本取扱説明書は光センサーの有無を除き、両モデル共通となっております

このたびは、車用電波時計をお買い上げいただき、ありがとうございます。最良の状況でご使用頂くために必ず、『取扱説明書』を最後までお読みください。また、『取扱説明書』は常にお手元に置くことをおすすめします。お読みになった後も、この『取扱説明書』は大切に保管してください。

1 各部の名称及び機能

オートライトモデル (ブルーバックライト)

◎アラームボタン

・アラームが鳴っている時、音を止める為に使用します。

◎センサー (オートライトモデルのみ)

・センサー式で暗くなるとバックライトが自動点灯します。

◎MODEボタン

・通常時刻表示とアラーム時刻表示を切替えるときに使用します。
・手動時刻設定時のセット解除に使用します。

◎SETボタン

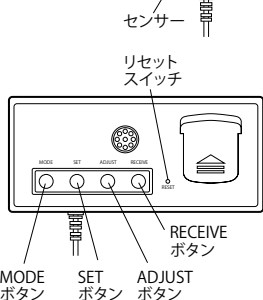
・通常時刻表示の際は、12時間表示と24時間表示を切り替えるのに使用します。
・手動時刻設定への切り替えと手動時刻設定時にセット個所の変更に使用します。

◎ADJUSTボタン

・通常時刻表示の際は、日付表示部を日付表示と西暦表示に切替えるのに使用します。
・アラーム設定時、アラームとスヌーズのオンオフに使用します。
・手動時刻設定、及びアラーム時刻セット時は、各表示の変更に使用します。

◎RECEIVEボタン

・電波の受信状況を確認する時、及び電波を強制受信するときに使用します。



◎リセットスイッチ

・時計が機能不全に陥った時などに、初期状態に戻す為に使用します。このスイッチを押す時は 細いピンを利用します。

常時点灯モデル (レッドバックライト)

◎アラームボタン

・アラームが鳴っている時、音を止める為に使用します。

◎MODEボタン

・通常時刻表示とアラーム時刻表示を切替えるときに使用します。
・手動時刻設定時のセット解除に使用します。

◎SETボタン

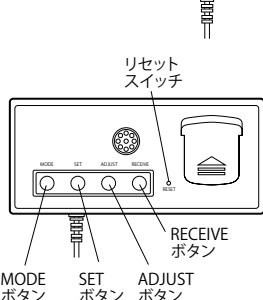
・通常時刻表示の際は、12時間表示と24時間表示を切り替えるのに使用します。
・手動時刻設定への切り替えと手動時刻設定時にセット個所の変更に使用します。

◎ADJUSTボタン

・通常時刻表示の際は、日付表示部を日付表示と西暦表示に切替えるのに使用します。
・アラーム設定時、アラームとスヌーズのオンオフに使用します。
・手動時刻設定、及びアラーム時刻セット時は、各表示の変更に使用します。

◎RECEIVEボタン

・電波の受信状況を確認する時、及び電波を強制受信するときに使用します。



◎リセットスイッチ

・時計が機能不全に陥った時などに、初期状態に戻す為に使用します。このスイッチを押す時は 細いピンを利用します。

2 液晶表示の説明

通常表示の時 (ADJUSTボタンで、日付表示と西暦表示が切替えられます。)

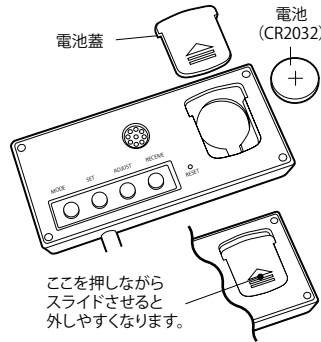


アラーム表示の時
スヌーズセット表示



3 電池の入れ方及び交換方法

1. 本体裏面の電池蓋を押しながらスライドさせて取り外します。
2. 電池 (CR2032) を図のように+を上にして入れ、電池蓋を元に戻します。
3. 製品を初めて使用する時は、電池ケース内にある絶縁シートを取り外してください。



注意 電池の土を間違えないようにご注意ください。

注意 使用済みの電池は、地方自治体の指示に従って、速やかに廃棄してください。

参考 交換用電池 (CR2032) は、電器店や時計店でお買い求めください。

ここを押しながらスライドさせると外しやすくなります。

4 電池を入れた後の動作

1. 電池を入れるとピープ音と共に液晶の表示の全てが一瞬点灯し、その後通常表示モードになります。
2. 通常表示モードになってから10秒後に電波のスキューニングを開始します。スキューニング中は、電波受信インジケータがその受信強度に応じて点滅し、電波の受信感度が分ります。受信感度が最大になる位置で設定してください。(電波受信インジケータの説明は5を参照ください。)
3. 電波を受信すると表示が現在時刻に変わります。

5 電波受信インジケータの説明



1. 受信電波が弱く、受信感度が時刻設定に不十分な場合
2. 受信電波が時刻設定に必要な受信感度がある場合
3. 受信電波が時刻設定に十分な受信感度がある場合

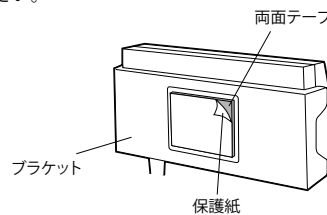
4. 通常表示のとき、このマーク が点灯している場合は、標準時刻電波が受信できており、消えている場合は、受信ができていません。

6 取付方法

本製品は、取り付ける場所により、ブラケットで直接取り付ける方法と取付ステーを使用した取付方法の2種類が選択できます。時計が見易い位置を探し、カープラグのコードが届く事を確認の上、その取り付け場所に応じて取り付け方法を選択してください。

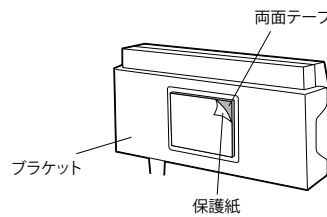
◎ブラケットでの直接取付方法 (垂直に近い面に取り付ける場合)

1. ブラケットの裏面、凹になっている部分に両面テープ(大)を貼り付けます。
2. 取り付ける場所を決め、その部分にブラケットに貼り付けた両面テープの保護紙を剥がして貼り付けます。



◎取付ステーを使用した取付方法 (水平な面、傾斜した面等に取付ける場合)

1. ブラケットに両面テープ(大)を貼り付けます。
2. 取付ステーに両面テープ(小)を2枚貼り付けます。
3. ブラケットの両面テープの保護紙をはがし、その部分に取付ステーを貼り付けます。
4. 取付場所を定め、その場所で時計が見やすい角度に取付ステーを曲げます。
5. 取付ステーの両面テープを剥がし、取り付けます。
6. 時計の取り付けが完了したら、カープラグをシガーライターソケットにしっかりと差し込みます。シガーライターソケットに12V電源が通電している場合、周囲の明るさに反応して、バックライトが点灯します。

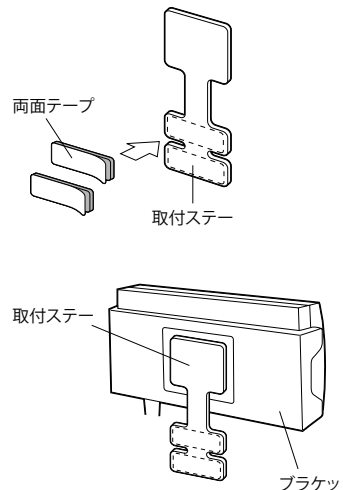


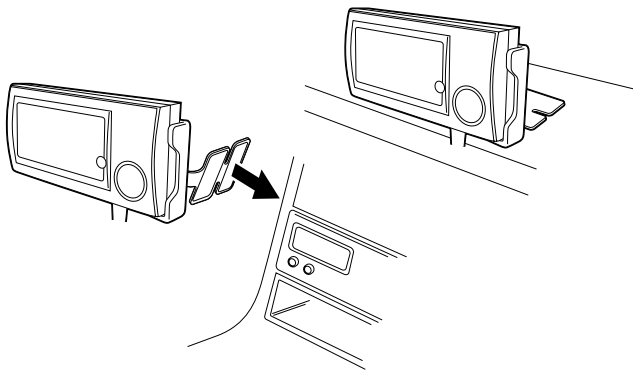
注意 貼り付けの際、時計本体の取外しに支障が無い事を確認してください。

注意 取り付け場所のホコリ、汚れ、保護つや出し剤等を中性洗剤でよくふき取り、完全に乾いてから貼り付けてください。

注意 両面テープは24時間を経過しますと、粘着力が最大になりますので、すぐに荷重をかけないでください。また、貼り直しは、粘着力の低下を招きますので、お避け下さい。素材をいためる恐れがありますので、皮革、木部、布地には取り付けないでください。

警告 取付ステーは何度も曲げたり伸ばしたりすると折れる場合があります。





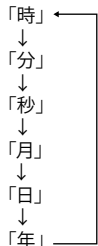
7 電波の強制受信の方法

1. 本体裏面の「RECEIVE」ボタンを押します。
2. 電波受信インジケータが表示されます。
3. 電波受信インジケータが時刻設定に十分な受信を示している場合は、その場所で、電波受信インジケータが電波が弱く表示している場合は、十分な受信になる場所に移動して、時計を固定してください。
4. 電波を受信し始めてから、6～12分で時刻設定が完了します。その場合、電波受信インジケータが点灯しています。

8 手動時刻設定の方法

海外などJY電波送信圏外で普通のクォーツ時計として使用したいとき、また、電波の受信環境の良くない所で受信操作をしても受信が出来ないときなどには、手動で時刻をセットできます。

1. 「SET」ボタンを「時」の表示が点滅するまで、2秒以上押してください。
2. 「ADJUST」ボタンを押して所定の時刻に「時」を設定します。
3. その後、「SET」ボタンを押すと点滅の表示が



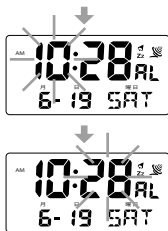
と、切り替わりますので、それぞれの位置で「ADJUST」ボタンを押して所定の時刻、日付に設定します。(曜日は日付の表示を設定すると自動的に替わります)

4. 設定が終了したら、「MODE」ボタンを押すと通常表示に切り替わります。



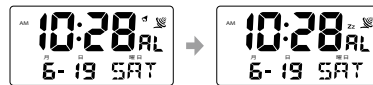
9 アラーム時刻の設定

1. 通常時刻表示の状態で、「MODE」ボタンを押すと、アラームモードに切り替わります。
2. アラームモードの状態で、「SET」ボタンをアラーム時刻表示の「時」の表示が点滅するまで、2秒以上押します。
3. 「ADJUST」ボタンを押して、所定の時刻に「時」を設定します。
4. 「SET」ボタンを押すと、「分」の表示が点滅に切り替わります。
5. 「ADJUST」ボタンを押して、所定の時刻に「分」を設定します。
6. 設定が終了したら、「MODE」ボタンを押します。



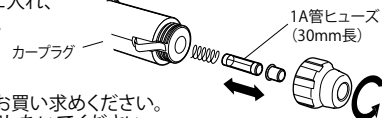
10 アラームの設定

1. 通常時刻表示から「MODE」ボタンでアラームモードに切替えます。
2. 「ADJUST」ボタンを押すと順次 のマーク、Zzマークが現れます。 のマークのみのときは、通常のアラーム、 のマークとZzマークのときは、スヌーズのアラームです。
3. 通常のアラームは、アラームボタンを押すとアラームが止まります。
4. スヌーズアラームは、アラームボタンを押した後、4分後に再度アラームがなり、トータル4回これを繰り返します。
5. アラームは、約60秒間鳴り続けます。



11 ヒューズの交換方法

1. カープラグ頭部を回して管ヒューズを抜きます。
 2. 新しい管ヒューズをカープラグ内に入れ、カープラグの頭部を締め込みます。
- 注意** 1A管ヒューズは、同種のものをお買い求めください。
注意 1A以外のヒューズは絶対に使用しないでください。
 頭部を外す際はスプリングなどが飛び出すことがありますので、紛失しない様ご注意ください。



12 注意事項

1. 電波時計は、標準時刻電波を受信して時刻を補正する時計です。電波を受信しやすい場所に時計を置いてください。下記の場所では電波が受信しにくい場合があります。
 - ① ビルの地下駐車場等、周囲をコンクリート等で囲まれた場所
 - ② 高圧線、テレビ塔等、強い電波を出す施設の付近
 - ③ 移動中の車、電車等の中
 - ④ その他ラジオの受信ができない場所など
2. 液晶表示が薄くなってきた場合、電池の消耗が考えられます。速やかに電池を交換してください。

13 製品仕様

1. 受信電波 : 長波JY(標準電波)
2. 受信周波数 : 福島長波局 (40kHz) 九州長波局 (60kHz)
3. 使用電池 : CR2032
4. 動作電圧 : 1.3V~1.6V
5. バックライト電源 : DC12V
6. 電池寿命 : 約1年(1日に受信2回、アラーム1回として)
7. 自動受信 : 2回~4回/日(受信状態による)
8. 時間精度 : 標準電波が受信できている場合 表示精度: ±1秒
標準電波が受信できなかった場合 平均月差: ±30秒
9. 表示機能
 - ① 時計表示 : 時 分 秒 12時間(AM/PM)/24時間
 - ② カレンダー表示 : 西暦/月日・曜日
 - ③ 電波受信表示 : 受信電波インジケータ(受信レベル4段階表示)、受信周波数
10. アラーム : アラーム音持続時間 1分間
スヌーズ時間 4分間(合計4回繰り返し)
11. バックライト過電流保護 : 1Aヒューズ(30mm)

株式会社 ナポレックス

〒124-0001 東京都葛飾区小菅2-6-22 TEL (03) 3602-7311
 ホームページ : <http://www.napolex.co.jp>